

現場の声



太田宿中山道会館長
三澤 照一さん

NPO法人「^{やどりぎ}宿木」は、中山道太田宿の活性化を担う、「中山道若衆会」「太田宿草鞋（わらじ）の会」「中山道発展会」の3団体が母体となって、中山道会館を運営するための受け皿として平成17年9月に会員46人で設立されました。

補佐役に徹する

館長に就任する時に、わたしなりに考えた事をお話させていただきます。

1つ目は、補佐役に徹するということです。NPO法人「宿木」の方々のほとんどは、これまで複数のイベントを行った経験とそのノウハウを持ってみえますので、それを十分発揮していただければと思いました。

2つ目は、NPO法人としての組織作りをしていく上では、上下関係を無くし、横のつながりを重視して、組織としての一体感を目指し、風通しを良くしようと考えました。

土壌作りは完了

メンバーの方々には、当初から自由に考えて行動し、常に前向きな姿勢と自己反省を忘れることなく、何よりメンバーが楽しんでもらえればありがたいと考えていました。

中山道会館と「宿木」はイコールであり、メンバーの成長こそが、会館の発展そのものだからなのです。おかげさまで、皆さまの頑張りで、1周年を迎えられたことは本当にうれ

しく思います。この1年で土壌作りは完了しましたので、今年からは種をまき、芽が出るように頑張らなければなりません。

美濃加茂市の中山道会館

「宿木」のメンバーは、地元の人が多いのは事実です。しかし、中山道会館は美濃加茂市の所有であり、単に、「宿木」は管理運営を任されているに過ぎません。つまり、美濃加茂市民の中山道会館でなくてはいけないのです。新たな観光の拠点として、市内外からの人たちが集い、交流する場として、発展させたいと思います。

これからが正念場

試行錯誤で始まった1年でしたが、確かな手応えを感じています。1年目は許される部分も多くありましたが、2年目以降は市民の皆さまの目も厳しくなります。1年の反省を踏まえ、多くの人たちに来館してもらえるように努力していきますので、皆さん、ぜひ、中山道会館に遊びに来てください。

十二月

キャンドル
ナイト

イルミネーションとは一味違う、優しい光に包まれ、寒い冬の夜にもかかわらず、心が温くなりました。

一月

中山道
初釜茶会

いすに座って行われ、表千家のお点前を披露。お茶菓子と茶で冬のひとときを楽しみました。

二月

和傘の献上

未来博をPRしながら中山道を歩いた、県職員ワンダーフォーゲルサークルから記念の和傘が献上されました。

三月

中山道
社会実験

中山道の歩道を広げたり、車両一方通行にしたりする社会実験がイベントとともに行われました。

